

図画工作科学習指導案

学習者 附属小学校4年2組 33名
指導者 松下 拓誠

題材名 本当の輝きを表そう ～1年間の成長をみんなに伝えよう『4年生 OPAM FINAL』～

1. 題材の目標

1年間の成長や学び、思いを表すために「ダイヤモンド」をモチーフにした絵画作品を作ることについて、今までの製作から得た「わざ」や「工夫」をもとにイメージをもち、そのときの思いを伝えられる色や形、表現方法を決め、イメージシートを基に展覧会までの製作計画を立て、製作過程を振り返る活動を通して、自分の1年間の成長や学び、思いを「ダイヤモンド」にこめて表すことができるようとする。

2. 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 自分の感覚や行為を通して、形や色などの組み合わせによる感じがわかっている。 ② 自分の表したい場面にあつた色や「わざ」、「工夫」を選び、手や体全体を十分に働かせて作品を作ることができる。	① 自分の伝えたい思いや作品のイメージを持ち、それをどのように表現するかを考えている。 ② 自分の感覚やイメージをもとに、選んだ表現方法、「わざ」や「工夫」を伝えることを通して、自分の見方や感じ方を広げたりすることができる。	① 単元の見通しや製作過程の記録をもとに、製作を振り返ったり見直したりして、自分の思いが伝わるような作品を作ろうとしている。 ② 自分の見方や感じ方をもとに、自分や友達の作品のよさを知ろうとしている。

3. 指導と評価の計画（9時間）

時	ねらい（◆）と主な学習活動（○）	評価規準（評価方法）		
		指導の改善に生かす評価「・」	総括資料とするための記録に残す評価「○」	
1	◆1年間の成長や学び、思いを表すために「ダイヤモンド」をモチーフにした「4年生 OPAM FINAL」を開くための製作計画を立てたり、作品に表したい1年間の思い出をシートにまとめたりする活動を通して、題材の見通しと、伝えたい思いのイメージを持つことができるようとする。 ○展覧会で自分のダイヤモンドを見てもらい、お互いの成長や思いを伝え合うこと（ゴール）を共有する。	知・技	思・判・表	主体
				・①（発言分析・記録分析）

	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1年間の出来事を振り返り、表したいことを考える。 ○ 展覧会までの製作計画を立てる。 ○ 教師見本や、額縁を生かした実際の作品の鑑賞を通して、イメージの広げ方や表し方、色の感じや額縁のよさを知る。 ○ イメージシートを使い、伝えたい思いや場面、色や形を描きためる。 	<p>【製作計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① イメージを持つ ② 試作をする ③ 絵を描く ④ 絵に合う額縁を作る ⑤ 鑑賞する 	
2	<p>◆ 伝えたい1年間の成長や感じたことを表現する方法について、伝えたい思いや場面から色や形、描きたいものを考えて、自分の思いに合った表現方法を選択決定したり試したりする活動を通して、自分の伝えたい思いや作品のイメージを持ち、それをどのように表現するかを考えることができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 今まで身に付けてきた表現方法を確認する。 ○ 自分の思いが伝わりやすい表現方法を考え、様々な「わざ」や「工夫」を試す。 ○ カッター、段ボールカッター等、道具の使い方を確認する。 ○ 試した結果を伝え合い、アドバイスやアイデアをもらう。 ○ イメージシートを使い、およその構図を考える。 	<p>○① 〈発言分析・記録分析〉</p>	
本時	<p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ソーラン節の力強さを表現するために、クレヨンを使って一部をバチックのようにしたい。 ・ プールのキラキラを表現するために、絵の具の濃さを変えてやってみよう。「にじむ」も使えるかな。 ・ 短距離走で前に出る感じを伝えたいので、段ボールを使って描きたいな。 ・ 額縁は四角形で、絵が黄色なので暗い色にしてみようかな。 ・ ダイヤモンド型の紙と額縁にしてみたいので、試してみよう。 		
3 ・ 4 ・ 5	<p>◆ 作品作りについて、自分のイメージシートや友達のアドバイスをもとに、伝えたいことに合わせて表現方法を選ぶ活動を通して、自分の表現したいことに合った画材や塗り方で手や体全体を十分に働かせて作品を作ることができるようとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動前の写真を撮る。 ○ イメージシートを使い、自分のイメージを確認し、今日の見通しを共有する。 	<p>○①② 〈作品・発言分析〉</p>	<p>・ ① 〈発言分析・記録分析〉</p>

○伝えたい思いに合わせて「わざ」や「工夫」を考えながら作る。

【想定される選択場面】

- ・下書きをしてから色を塗る。
- ・直接色塗りをする。

【土台の選択】

- ・画用紙に絵を描き、段ボールの額縁をつける。

- ・段ボールで絵と額縁を作る。

【道具や材料の選択】

- ・水彩絵の具
- ・クレヨン
- ・ローラー
- ・鉛筆
- ・歯ブラシ
- ・ペットボトルキャップ
- ・スポンジ
- ・ビー玉
- ・梱包材（プチプチ）
- ・段ボール
- ・色画用紙
- ・折り紙

【想定される児童の姿】

- ・ソーラン節の力強い動きを表現するために、クレヨンで描いてみよう。
- ・プールの水や光を表現するために絵の具の濃さを変えてみたよ。
- ・短距離走で前に出る感じを表したいので、段ボールを使って飛び出す仕掛けを作ってみよう。
- ・歌声発表会の暖かい歌声を、オレンジ色でスポンジを使った模様で表してみよう。
- ・ダイヤモンドの輝きをよりキラキラさせるために、アドバイスにあった「スペッタリング」をつけたしたよ。

○カッター、段ボールカッター等、道具の使

	<p>い方を確認する。</p> <p>○中間指導としてお互いの作品を鑑賞し、困 りの解決や表現方法を共有する。</p> <p>○作品の写真を撮り、振り返りを記入する。</p>		
6 ・ 7 ・ 8	<p>◆額縁作りについて、イメージシートから自分に合った色や形を考えたり、段ボールの特性を生かし たりしながら製作する活動を通して、自分の描いた作品に合った色や形、材料の組み合わせを選び、 手や体全体を十分に働かせて作ることができるようする。</p> <p>○イメージシートや完成した絵から、どのよ うな色や形にするか考える。 (段ボールで全体を製作して、額縁を組み 込んでいる場合はその仕上げや完成を目 指す。)</p> <p>○カッター、段ボールカッター等、道具の使 い方を確認する。</p> <p>○アイデアを伝え合い、自分に合ったものを 選択する。</p> <p>○額縁をつけ、全体を完成させる。</p>	○①② 〈作品分 析〉	
9	<p>◆1年間の成長や学びについて、自分の作品のイメージや「わざ」「工夫」を伝え合い、鑑賞する活動 を通して、製作の頑張りや工夫を認め合い、自分の見方や感じ方を広げることができるようする。</p> <p>○自分の作品で伝えたいことを紹介し合う。</p> <p>○お互いの作品を見て気付いたことや「いい な」と思ったことを伝え合う。</p> <p>【想定される児童の姿】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歌声発表会の暖かい歌声を、オレンジ色 でスポンジを使った模様で表した部分 がお気に入りです。 ・ダイヤモンドの輝きをよりキラキラさ せるために、アドバイスにあった「スパ ッタリング」をつけたしたら、きれいに できた。 ・Aさんの作品のオレンジ色がきれいで、 歌声発表会の思いを表していることが わかつてよかったです。 <p>○自分の製作過程や成長・変容を振り返る。</p>	○② 〈発言分析・ 記録分析〉	○② 〈行動分 析・記録分 析〉

7. 本時の指導 (2/9)

本時のねらい	伝えたい1年間の成長や感じたことを表現する方法について、伝えたい思いや場面から色や形、描きたいものを考えて、自分の思いに合った表現方法を選択決定したり試したりする活動を通して、自分の伝えたい思いや作品のイメージを持ち、それをどのように表現するかを考えることができるようとする。
評価規準	伝えたい1年間の成長や感じたことを表現する方法について、自分の伝えたい思いや作品のイメージを持ち、それをどのように表現するかを考えることができる。
具体的な児童の姿	<p>「ソーラン節の力強さを表現するために、クレヨンを使って一部をバチックのようみたい。」</p> <p>「プールのキラキラを表現するために、絵の具の濃さを変えてやってみよう。『にじむ』も使えるかな。」</p> <p>「短距離走で前に出る感じを伝えたいので、段ボールを使って描きたいな。」</p>

時間	児童の活動	○指導及び・留意点 【選択・決定】【当事者意識】 ※支援を要する児童への手立て ◎評価〈方法〉
3分	1. 本時のめあてを確認する。	<p>○前時を振り返り、ゴールと製作計画を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イメージシートや試作した下書きを確認し、具体的なイメージを思い出せるようにする。 <p>めあて わざや工夫を試して自分のイメージを伝える方法を考えよう。</p>
5分	2. 今まで経験してきた「わざ」や「工夫」を出し合う。	<p>○思いを伝えるための「わざ」や「工夫」として、今まで経験したものを見つめ直す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どのような時に使ったか、どのようなイメージになったかを想起させ、それぞれのよさを感じられるようにする。 ・選択決定の手立てとして、これまでに経験してきた「わざ」や「工夫」、「道具」を掲示する。 <p>※ICTや板書掲示を使って視覚的に確認できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレヨン→バチック、スクラッチ 色がはっきりするので目立ちやすい。 ・水彩→にじむ、たらす、スペッタリング 水加減（濃さ）、塗り方（タンポ、キャップなど） 光の感じややわらかいイメージになる。 たまたまできる感じがおもしろい。 ・はさみ→切り絵にする（紙版画・飛び出すしあわせ） 手で塗るのと違う感じにできる。 目立つようにできる。 <p style="text-align: right;">【選択・決定】【当事者意識】</p>

		<ul style="list-style-type: none"> ・段ボール→塗った色の感じが画用紙と違う。 額縁や絵を塗る場所も段ボールで製作する。 重ねると飛び出すようにできる。 ・色や形→反対色や同系色 表したいものを大きくするなど（構図）
3分	3. 自分の伝えたい思いに合う「わざ」や「工夫」を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分が考えたい場面や思いを選び、どのように表したいかをイメージできるようにする。 ・イメージシートを確認して、自分が考えていた場面や出来事、そこから連想した色や形を確かめられるようにする。 <p>前時で考えた「伝えたい出来事や思い」やイメージ 運動会のソーラン節→力強い動きを表したい。 水泳（プール）→楽しさや水のキラキラを表したい。 1年間の頑張り、成長の輝き→赤、黄色を使って表したい。</p>
10分	4. 自分の伝えたいことに合った「わざ」や「工夫」を試す。	<ul style="list-style-type: none"> ○自分の伝えたいことに合わせて試作をしたりイメージシートに追記したりするようにする。 ・迷っているものを試したり、気になる材料や「わざ」や「工夫」を使うとどのような感じになるかを確かめたりできるようにする。 ・様々な画材や材料を用意しておく。 <p>・ソーラン節の力強さを表現するために、クレヨンを使って一部をバチックのようにしたい。 ・プールのキラキラを表現するために、絵の具の濃さを変えてやってみよう。「にじむ」も使えるかな。 ・成長の輝きを「スペッタリング」を使って表してみよう。 ・走っている自分を「段ボール」を土台にして作り、目立たせてみようかな。</p> <p>※表したい出来事や思いの理由を聞き、色や優先したいものを確かめるようにする。</p> <p style="color: red;">【選択・決定】</p> <p style="color: blue;">【当事者意識】</p>
4分	5. 「今どんな感じ？タイム」としてお互いの成果や悩みを聞き合う。	<ul style="list-style-type: none"> ○お互いに紹介し合い、成果や悩みを伝え合うようにする。 ・全体で共有し、イメージを広げたり、悩みが解決できたりするようにする。 <p style="color: blue;">〈発言分析・記録分析〉</p>

12分	6. 試す活動の続きをする	<p>○「今どんな感じ？タイム」で伝え合って広がったことや、やつてみようと思ったことを試せるようにする。</p> <p>※試した方法と表したい思いを聞くことでイメージを引き出すようにする。イメージシートやアドバイスを振り返るようにする。</p> <p style="text-align: right;">【選択・決定】</p> <p>◎伝えたい1年間の成長や感じたことを表現する方法について、自分の伝えたい思いや作品のイメージを持ち、それをどのように表現するかを考えることができる。</p>
8分	7. 本時の振り返りを行う。	<p>○イメージシートを使って以下の視点から児童が選択して振り返るようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">【振り返りの視点】</p> <p>①自分の作品で工夫したこと、改善したこと。 ②お気に入りのポイント ③友達からもらったアドバイスで取り入れたいこと。 ④思いや学びが伝わりそうか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・試したもの写真を撮り、記録できるようにする。 ・次時の活動（製作過程）を確認し、次の見通しを持てるようにする。 <p style="text-align: right;">【当事者意識】</p>

使用するイメージシート（試作中）

○めあて、見通し、振り返りシート

4年生 OPAM FINAL ~本当の輝きを伝えよう~	時間目	制作計画
めあて		
今日すること		
ふりかえり		

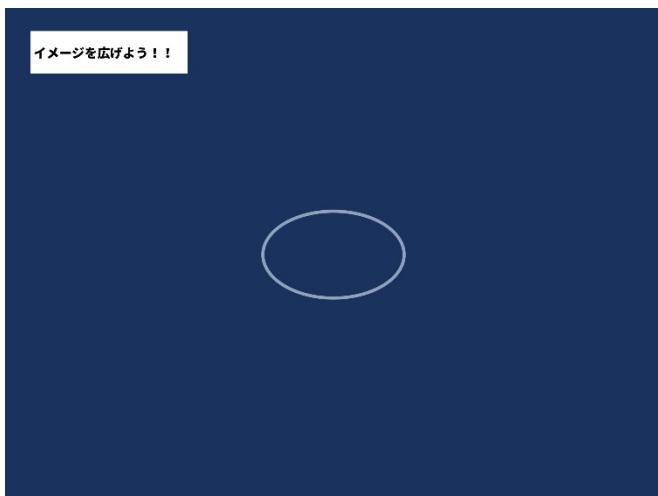
○製作記録シート 写真を撮り、項目ごとに振り返る

制作記録			
------	--	--	--

○イメージ（構想）シート

全て使うのではなく、自分にあったものを選択して使う。 下書き用紙に直接描くのもOK。

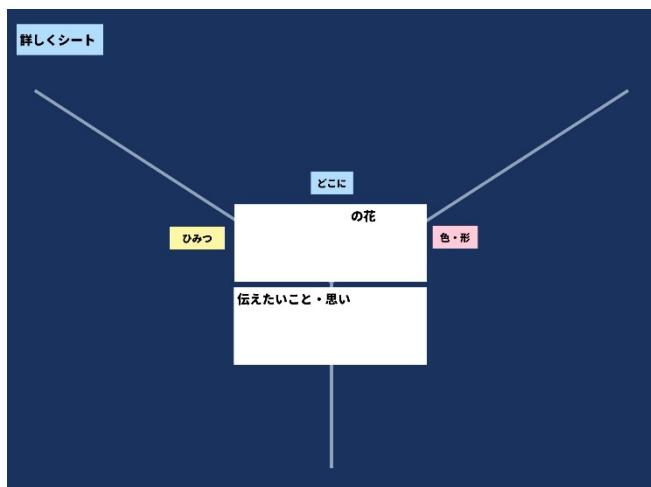
・ウェビングマップ



・データチャート

イメージシート	本当の輝きを伝えよう		
	イメージ	色・形	わざ・工夫

・Yチャート



【教師見本】

